

令和8年度(2026年度)

カリキュラム編成書

インテリア科

東北電子専門学校

学 科 概 要 書

インテリア科

育成人材像

- ① 住生活商品の知識及びビジネスマナーや接客技術を身に付け、顧客の要件にあった室内空間のコーディネートや、空間デザインを行うことができる。
- ② 健常者だけではなく、高齢者、乳幼児、障害者などの居住者や利用者の身体的特質を理解し、建築物の新築やリフォームにおいて、快適かつ安全に生活できるようにアドバイスや空間提案を行うことができる。
- ③ 図面を正確にかつ迅速に作成するための3DCADソフトや、アイデアや完成デザインの視覚化ツールなどを使用し、顧客や業界関係者に対して、作成したインテリア設計案を効果的に説明したり、指示したりすることができる。

身に付ける能力

- ① インテリア販売における住生活商品の知識や接客技術、ビジネスマナーやインテリア構成材(エレメント)についての知識を身に付けて、インテリアコーディネートの基礎業務を行うことができる。
- ② 高齢者や障害者、あるいは乳幼児などの空間的危険性に対応できる知識や技術を身に付けて、福祉住環境コーディネーターとしての業務を行うことができる。
- ③ PowerPoint、VectorWorks、Photoshop、Lumionなどのソフトウェアによるデジタル表現技術を身に付け、顧客や業界関係者に適切な情報提供や、提案をすることができる。

教育課程編成方針

- ① 豊かな教養と社会常識を身に付けるために、「就職対策」を各年次に配置する。
- ② 1年次は、インテリアコーディネーターに必要な住空間や商空間に対する商品知識を身に付けるための専門科目を配置する。更に販売能力を身に付けるための接客技術やビジネスマナー、コーディネートしたインテリアを的確に説明するため、3DCAD及び画像加工技術の基礎を身に付ける専門科目を配置する。
また、高齢者にとって快適な住環境を実現するための知識を身に付ける専門科目を配置する。
- ③ 1年次に企業と連携した実習科目を通年で配置する。
- ④ 2年次は、インテリアコーディネーターとしての実践力を修得するための専門科目として、1年次に身に付けた、住空間や商空間の知識を更に高めるための演習、並びに3DCAD及び画像加工ソフトを使いこなし、より高度なプレゼンテーション技術を身に付けるための専門科目を配置する。
また、2建築士試験に必須となる建築法規や施工・構造など、基礎的な建築工学を身に付けるための専門科目を配置する。
- ⑤ 2年次についても、通年で企業と連携した実習科目を配置する。

授業実施の方針

- ① キャリア教育科目である「就職対策」はオンラインコンテンツを利用した一般常識の学修、履歴書・エントリーシートの記述指導、面接訓練等の実践トレーニングとする。
- ② インテリア業界における知識修得を目的とした科目は講義形式で行うことを基本とし、知識の定着のための演習はグループワーク形式で行う。
- ③ 3DCAD及び画像加工ソフトの操作技能を身に付けるための専門科目は、実習形式で行う。年間5作品程度の図面を作成した上でプレゼンテーションを行い、インテリアコーディネーターとして活躍できる実践力を身に付ける。
- ④ 基礎的な建築工学分野における知識修得を目的とした科目は講義形式で行うことを基本とし、知識の定着のための演習はグループワーク形式で行うこととする。
- ⑤ 実践力を身につけるために実施する企業と連携した授業では、インテリアコーディネーターとしての基本姿勢を修得するとともに、顧客対応技術・製図及びモデル表現・プレゼンテーションなどインテリアコーディネーター業務の一連の流れを実践的に経験する。

目標資格

- ・インテリアコーディネーター ・インテリア設計士 ・福祉住環境コーディネーター ・リビングスタイリスト ・色彩士検定

目指す職種

- ・インテリアコーディネーター ・インテリア設計、施工士 ・建築系設計、施工管理士 ・ハウジングアドバイザー
- ・リフォームコーディネーター

企業連携実習

- ・有限会社「殖建工業」との連携授業□

業界や企業との提携／外部イベント／コンテスト等

- ・宮城県建築士事務所協会との連携
- ・協同組合資材連主催「革のデザインコンテストin東京レザーフェア」に毎年参加
- ・インテリア産業協会主催などの効果的なセミナーに参加

科目関連図

インテリア科



インテリア科

1年

科目名	就職対策 I A				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	前期	時限/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	松野 義勝			実務経験					
目的/概要	<p>目的: 就職活動において、各種審査・試験(書類審査、筆記試験、面接試験等)に対応できる力を身につけることにより、希望する企業への内定を獲得する。</p> <p>概要: テキストと動画視聴、ワークブックにより、書類の作成や面接対策など、就職活動で必要とされる対応力を身につける。またWebコンテンツを使用し、一般常識や適性試験対策を中心に就職活動における筆記試験対策を行う。</p>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に必要な書類、特に履歴書をしっかりと完成させることができる。 ・就職活動を前提に、社会人としての常識やモラル、立ち居振る舞いを身につける。 ・面接試験においては物おじせず、自分の考えを相手に伝えることができる。 ・一般常識やSPIを繰り返すことにより、スキルの向上を図る。 								
目標資格	特になし								
前提知識	特になし								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト: ビジュアルで学ぶシリーズ これだけは知っておきたい! 面接対策&ビジネスマナー(ウィネット)(ワークブック付属) ・Webコンテンツ: ラインズドリルベーシック、ラインズSPI(ラインズ社) 								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動は卒業後の進路を決める重要な活動であり、本授業はその礎を築くものである。就職活動を主体的に捉え、積極的に取り組むこと。 ・ラインズは授業以外の時間も使用し、積極的に進めること。 								
成績評価の方法									

授業計画・授業内容

	テキスト・ワークブック	ラインズ
第1週	科目オリエンテーション	ラインズベーシック 数学 1.数の体系1
第2週	I. 社会人になるとは①	ラインズベーシック 数学 2.数の体系2
第3週	I. 社会人になるとは②	ラインズベーシック 数学 3.単位/組み合わせ・確率
第4週	II. 基本動作	ラインズベーシック 数学 4.量の関係・文字式・関数
第5週	III. 言葉遣い①	ラインズベーシック 数学 5.累乗・2次方程式
第6週	III. 言葉遣い②	ラインズベーシック 数学 6.図形
第7週	IV. 電話対応①	ラインズベーシック 数学 総まとめ
第8週	IV. 電話対応②/V. インターネット・電子メール利用のマナー	中間試験
第9週	I. 面接の目的①	ラインズSPI SPI解答のテクニック 非言語(基礎)①
第10週	I. 面接の目的②	ラインズSPI SPI解答のテクニック 非言語(基礎)②
第11週	II. 自己分析①	ラインズSPI SPI演習問題 非言語(基礎)①
第12週	II. 自己分析②	ラインズSPI SPI演習問題 非言語(基礎)②
第13週	就職支援プログラム①	ラインズSPI SPI演習問題 非言語(基礎)③
第14週	就職支援プログラム②	ラインズSPI SPI演習問題 非言語(基礎) 総まとめ
第15週	前期まとめ/期末試験	期末試験
	<p>※授業時間に、付属のワークブックの記入や動画の視聴も一部含む。</p> <p>※就職支援プログラムの実施時期は前後する場合がある。</p>	

科目名	就職対策 I B				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	後期	時限/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	松野 義勝			実務経験					
目的/概要	<p>目的: 就職活動において、各種審査・試験(書類審査、筆記試験、面接試験等)に対応できる力を身につけることにより、希望する企業への内定を獲得する。</p> <p>概要: テキストと動画視聴、ワークブックにより、書類の作成や面接対策など、就職活動で必要とされる対応力を身につける。またWebコンテンツを使用し、一般常識や適性試験対策を中心に就職活動における筆記試験対策を行う。</p>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動に必要な書類、特に履歴書をしっかりと完成させることができる。 ・就職活動を前提に、社会人としての常識やモラル、立ち居振る舞いを身につける。 ・面接試験においては物おじせず、自分の考えを相手に伝えることができる。 ・一般常識やSPIを繰り返すことにより、スキルの向上を図る。 								
目標資格	特になし								
前提知識	特になし								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト: ビジュアルで学ぶシリーズ これだけは知っておきたい! 面接対策&ビジネスマナー(ウィネット)(ワークブック付属) ・Webコンテンツ: ラインズドリルベーシック、ラインズSPI(ラインズ社) 								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・就職活動は卒業後の進路を決める重要な活動であり、本授業はその礎を築くものである。就職活動を主体的に捉え、積極的に取り組むこと。 ・ラインズは授業以外の時間も使用し、積極的に進めること。 								
成績評価の方法									

授業計画・授業内容

	テキスト・ワークブック	ラインズ
第1週	就職支援プログラム①	ラインズSPI SPI解答のテクニック 非言語①
第2週	就職支援プログラム②	ラインズSPI SPI解答のテクニック 非言語②
第3週	Ⅲ. 自己PR作成①	ラインズSPI SPI演習問題 非言語①
第4週	Ⅲ. 自己PR作成②	ラインズSPI SPI演習問題 非言語②
第5週	Ⅳ. 志望動機作成①	ラインズSPI SPI演習問題 非言語③
第6週	Ⅳ. 志望動機作成②	中間試験
第7週	V. エントリーシート・履歴書作成①	ラインズSPI SPI解答のテクニック 言語
第8週	V. エントリーシート・履歴書作成②	ラインズSPI SPI演習問題 言語①
第9週	Ⅵ. 企業訪問①	ラインズSPI SPI演習問題 言語②
第10週	Ⅵ. 企業訪問②	ラインズSPI SPI演習問題 言語③
第11週	Ⅶ. 面接試験①	ラインズSPI SPIマークシート
第12週	Ⅶ. 面接試験②	ラインズSPI SPIWebテスト
第13週	Ⅶ. 面接試験③	ラインズSPI SPIテストセンター
第14週	模擬面接	ラインズSPI 総まとめ
第15週	前期まとめ/期末試験	期末試験
	<p>※授業時間に、付属のワークブックの記入や動画の視聴も一部含む。</p> <p>※就職支援プログラムの実施時期は前後する場合がある。</p>	

科目名	コンピュータ基礎A				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	4
担当教員	丸山 千恵			実務経験					
目的/概要	<p>目的:2次元CAD利用技術者基礎試験の合格。 概要:2次元CAD利用技術者基礎試験の対策を中心に授業を行い、そのために必要な知識を身につける。</p>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・コンピュータシステムの仕組みを理解し、内部接続や周辺機器との接続ができるようになること。 ・ネットワークに関する知識を深め、家庭や職場からインターネットに接続できるようになること。 ・個人情報の取り扱い、知的財産、SNS利用時の危険性について理解し、様々なネットトラブルから身を守ることができる。 ・ネット社会における影の部分を理解し、何が正しく何が正しくないのかを判断できるようになること。 ・製図の基礎知識全般を理解すること。 								
目標資格	・特になし								
前提知識	・特になし								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・テキスト:CAD利用技術者試験2次元2級・基礎公式ガイドブック ・Webコンテンツ:ラインズドリルベーシック、ラインズSPI(ラインズ社) 								
履修上の注意	<p>今やコンピュータシステムやネットワークの知識は、社会に出ていく上で必須となっている。 就職を意識し、積極的に身につけるように心掛けること。</p>								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・2次元CAD利用技術者基礎試験結果:40% ・レポート、小テスト:40% ・平常点:20% 								

授業計画・授業内容

第1週	科目オリエンテーション、アンケート
第2週	第1章 CADシステムの知識と利用①
第3週	第1章 CADシステムの知識と利用②
第4週	第1章 CADシステムの知識と利用③
第5週	第1章 CADシステムの知識と利用④
第6週	第2章 CADシステムのプラットフォーム①
第7週	第2章 CADシステムのプラットフォーム②
第8週	第2章 CADシステムのプラットフォーム③
第9週	第2章 CADシステムのプラットフォーム④
第10週	第2章 CADシステムのプラットフォーム⑤
第11週	第2章 CADシステムのプラットフォーム⑥
第12週	第3章 CADシステムの関連知識①
第13週	第3章 CADシステムの関連知識②
第14週	第3章 CADシステムの関連知識③
第15週	前期まとめ/期末試験
*進捗に合わせて小テストを実施する。	

科目名	コンピュータ基礎B				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	2
担当教員	丸山 千恵			実務経験					
目的/概要	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルコンピュータについて、ハードウェアやソフトウェア、周辺機器などに関する基本的な知識を身につける ・インターネットやメール、LANをはじめとするネットワークの基本的な知識を身につける。 ・情報化社会における問題点や法整備、モラル等について基本的な知識を身につける。 ・AIリテラシの習得。 ・Microsoft Office Excelの修得。 ・CAD利用技術者基礎試験の対策。 								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・パーソナルコンピュータの仕組みを理解し、内部接続や周辺機器との接続ができるようになる。 ・ネットワークに関する知識を深め、家庭や職場からインターネットに接続できるようになる。 ・情報化社会におけるマナーや法律を理解し、正しく運用することができるようになる。 ・ネット社会における影の部分を理解し、何が正しく何が正しくないのかを判断できるようになる。 ・AIに関する基本的な考え方や知識、活用事例などについて理解する。 ・Microsoft Office Excelによる集計表の作成。 ・CAD利用技術者基礎試験 合格。 								
目標資格	・CAD利用技術者基礎試験								
前提知識	・コンピュータ基礎Aを履修していること。								
使用教材	・CAD利用技術者試験2級・基礎公式ガイドブック								
履修上の注意	・今やコンピュータやネットワークの知識は、社会に出ていく上で必須となってきた。積極的に身につけるように心掛けること。								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験:40% ・課題内容・提出状況:40% ・授業に取り組む姿勢:20%等により総合的に評価する。 								

授業計画・授業内容

第1週	・Microsoft Office Excel①
第2週	・Microsoft Office Excel②
第3週	・Microsoft Office Excel③
第4週	・Microsoft Office Excel④
第5週	・Microsoft Office Excel⑤
第6週	・Microsoft Office Excel⑥
第7週	・Microsoft Office Excel⑦
第8週	・Microsoft Office Excel⑧
第9週	・Microsoft Office Excel⑨
第10週	・Microsoft Office Excel⑩
第11週	・Microsoft Office Excel⑪
第12週	・Microsoft Office Excel⑫
第13週	・Microsoft Office Excel⑬
第14週	・Microsoft Office Excel⑭
第15週	・演習

科目名	インテリア計画 I A(二級建築士認定科目)				企業連携	対象科目	授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	2
担当教員	渡邊 武海			実務経験	個人にて総合デザイン事務所を主宰し、各種インテリア・建築の基本設計・実施設計、現場設計監理などを行う またイベントのチラシやパンフの作成などグラフィックデザインも行い、イベントの制作・企画なども併せて行う それら幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う				
目的/概要	目的 ・小規模の店舗がプランニングできる能力を身に付ける ・什器、インテリアエレメントに対する知識を身に付ける ・インテリアプランニング/コーディネート基礎知識修得サポート								
到達目標	・小規模な店舗の空間設計ができる ・意匠と歴史の連携を意識し、その活用ができる ・単位空間をはじめとし、より使いやすい空間をデザインすることができる ・実現できるプランニングを常に意識することができる								
目標資格	・二級建築士、インテリアコーディネーター								
前提知識	・設計製図 I、II/CAD設計 I、IIを修得していること								
使用教材	・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション、プランニング概要説明 ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第2週	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第3週	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第4週	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第5週	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第6週	<ul style="list-style-type: none"> ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス) ・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・展開・断面・パース)
第7週	<ul style="list-style-type: none"> ・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・展開・断面・パース) ・スタディー、プレゼンモデル作成
第8週	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディー、プレゼンモデル作成
第9週	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディー、プレゼンモデル作成
第10週	<ul style="list-style-type: none"> ・スタディー、プレゼンモデル作成 ・空間に必要な諸要素
第11週	<ul style="list-style-type: none"> ・空間に必要な諸要素
第12週	<ul style="list-style-type: none"> ・空間に必要な諸要素
第13週	<ul style="list-style-type: none"> ・空間に必要な諸要素 ・小規模店舗設計課題:演習プリントにて詳細は指示
第14週	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模店舗設計課題:演習プリントにて詳細は指示
第15週	<ul style="list-style-type: none"> ・小規模店舗設計課題:演習プリントにて詳細は指示

科目名	インテリア計画ⅠB(二級建築士認定科目)				企業連携	対象科目	授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	2
担当教員	渡邊 武海			実務経験	個人にて総合デザイン事務所を主宰し、各種インテリア・建築の基本設計・実施設計、現場設計監理などを行う またイベントのチラシやパンフの作成などグラフィックデザインも行い、イベントの制作・企画なども併せて行う それら幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う				
目的/概要	目的 ・小規模の店舗がプランニングできる能力を身に付ける ・什器、インテリアエレメントに対する知識を身に付ける ・インテリアプランニング/コーディネート基礎知識修得サポート								
到達目標	・小規模な店舗の空間設計ができる ・意匠と歴史の連携を意識し、その活用ができる ・単位空間をはじめとし、より使いやすい空間をデザインすることができる ・実現できるプランニングを常に意識することができる								
目標資格	・二級建築士、インテリアコーディネーター								
前提知識	・設計製図Ⅰ、Ⅱ/CAD設計Ⅰ、Ⅱを修得していること								
使用教材	・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、プランニング概要説明 ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第2週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第3週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第4週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第5週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第6週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス) ・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・展開・断面・パース)
第7週	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・展開・断面・パース) ・スタディー、プレゼンモデル作成
第8週	・スタディー、プレゼンモデル作成
第9週	・スタディー、プレゼンモデル作成
第10週	・スタディー、プレゼンモデル作成 ・空間に必要な諸要素
第11週	・空間に必要な諸要素
第12週	・空間に必要な諸要素
第13週	・空間に必要な諸要素 ・小規模店舗設計課題:演習プリントにて詳細は指示
第14週	・小規模店舗設計課題:演習プリントにて詳細は指示
第15週	・小規模店舗設計課題:演習プリントにて詳細は指示

科目名	インテリア販売A				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	松野 義勝			実務経験					
目的/概要	目的 ・インテリア販売の知識及び実践力を身につける ・2級リビングスタイリスト合格								
到達目標	・販売技術、接客マナーの習得 ・ビジネスマナー及び報連相の習得 ・インテリア販売知識の習得 ・一点透視図法作図の習得								
目標資格	・2級リビングスタイリスト								
前提知識	・特に無し								
使用教材	・2級リビングスタイリスト資格試験公式テキスト(ハウジングエージェンシー) ・2級リビングスタイリスト資格試験過去問題徹底研究(ハウジングエージェンシー)								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、リビングスタイリストとは
第2週	・小売業
第3週	・小売業
第4週	・小売業
第5週	・小売業
第6週	・小売業
第7週	・卸売業
第8週	・卸売業
第9週	・卸売業
第10週	・卸売業
第11週	・卸売業
第12週	・流通
第13週	・流通
第14週	・流通
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	インテリア販売B				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	松野 義勝			実務経験					
目的/概要	目的 ・インテリア販売の知識及び実践力を身につける ・2級リビングスタイリスト合格								
到達目標	・販売技術、接客マナーの習得 ・ビジネスマナー及び報連相の習得 ・インテリア販売知識の習得 ・一点透視図法作図の習得								
目標資格	・2級リビングスタイリスト								
前提知識	・特に無し								
使用教材	・2級リビングスタイリスト資格試験公式テキスト(ハウジングエージェンシー) ・2級リビングスタイリスト資格試験過去問題徹底研究(ハウジングエージェンシー)								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、マーケティング基礎
第2週	・マーケティング基礎
第3週	・セールスプロモーション基礎
第4週	・セールスプロモーション基礎
第5週	・インテリアエレメントなど
第6週	・インテリアエレメントなど
第7週	・インテリアグリーンなど
第8週	・インテリアグリーンなど
第9週	・一点透視図基礎
第10週	・一点透視図基礎
第11週	・一点透視図基礎
第12週	・一点透視図基礎
第13週	・インテリア重要事項
第14週	・インテリア重要事項
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	建築計画A(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	菅原 麻衣子			実務経験	個人にて建築設計事務所を主宰し、各種建築インテリアの基本設計・実施設計、現場設計監理・事務所経営など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う				
目的/概要	目的 ・建築計画の意義とその方法を理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・建築計画の意義とその方法を理解修得する ・建築環境について習熟し、それを活かせる建築計画を立案することができる ・建築物各部の単位計画について習熟し、それを設計活かすことができる ・設備計画の基本を理解する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・特に無し								
使用教材	・住宅の計画学入門―住まい設計の基本を知る(鹿島出版会) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取る ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、建築環境、外部・室内環境
第2週	・建築環境、外部・室内環境
第3週	・建築環境、外部・室内環境
第4週	・伝熱と結露
第5週	・伝熱と結露
第6週	・伝熱と結露
第7週	・伝熱と結露
第8週	・伝熱と結露
第9週	・換気と通風
第10週	・換気と通風
第11週	・換気と通風
第12週	・日照、日影、日射・採光、色彩
第13週	・日照、日影、日射・採光、色彩
第14週	・日照、日影、日射・採光、色彩
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	建築計画B(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	菅原 麻衣子			実務経験	個人にて建築設計事務所を主宰し、各種建築インテリアの基本設計・実施設計、現場設計監理・事務所経営など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う				
目的/概要	目的 ・建築計画の意義とその方法を理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基本知識修得サポート								
到達目標	・建築計画の意義とその方法を理解修得する ・建築環境について習熟し、それを活かせる建築計画を立案することができる ・建築物各部の単位計画について習熟し、それを設計活かすことができる ・設備計画の基本を理解する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・特に無し								
使用教材	・住宅の計画学入門—住まい設計の基本を知る(鹿島出版会) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取る ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容	
第1週	・オリエンテーション、音環境
第2週	・音環境
第3週	・計画概要
第4週	・計画概要
第5週	・計画概要
第6週	・計画概要
第7週	・各部の計画
第8週	・各部の計画
第9週	・各部の計画
第10週	・各部の計画
第11週	・工法等
第12週	・各種施設
第13週	・空気調和、電気設備、消防、防災等
第14週	・空気調和、電気設備、消防、防災等
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	建築材料A(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	松野 義勝			実務経験					
目的/概要	目的 ・建築材料について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・建築、インテリアを構成する材料について理解する ・使用される部位において、適切な材料選択ができる能力を身に付ける ・材料と建築の安全性の関連を理解修得する ・健康的な材料の選定ができる能力を身に付ける								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・基礎建築知識								
使用教材	・初めての建築材料(学芸出版社) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取る事 ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、建築材料について
第2週	・建築材料について
第3週	・建築材料について
第4週	・建築材料について
第5週	・建築材料の分類と性能
第6週	・建築材料の分類と性能
第7週	・建築材料の分類と性能
第8週	・建築材料の分類と性能
第9週	・木材について
第10週	・木材について
第11週	・木材について
第12週	・木材について
第13週	・木材について
第14週	・木材について
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	建築材料B(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	松野 義勝			実務経験					
目的/概要	目的 ・建築材料について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・建築、インテリアを構成する材料について理解する ・使用される部位において、適切な材料選択ができる能力を身に付ける ・材料と建築の安全性の関連を理解修得する ・健康的な材料の選定ができる能力を身に付ける								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・基礎建築知識								
使用教材	・初めての建築材料(学芸出版社) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取る事 ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容	
第1週	・オリエンテーション、鋼材について
第2週	・鋼材について
第3週	・鋼材について
第4週	・鋼材について
第5週	・コンクリートについて
第6週	・コンクリートについて
第7週	・コンクリートについて
第8週	・コンクリートについて
第9週	・仕上材料について
第10週	・仕上材料について
第11週	・仕上材料について
第12週	・仕上材料について
第13週	・仕上材料について
第14週	・材料レポートの作成課題を課す(詳細は演習プリントにて)
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	設計製図A(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	2
担当教員	吉井 清夏		実務経験	企業にて下記業務に携わる ・住宅や大型建築物の生産設計業務に携わる 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	目的 ・建築、インテリア製図の基本作図法を修得する ・建築物の基本的な構造を学び、インテリアとの取り合いを学ぶ ・小規模建築(木造・RC造・S造-住居・店舗等)の、建築設計法を修得する ・単位空間の計画、設計を学び、また造作家具の計画、設計法を修得する ・室内空間の細部納まりを理解する ・室内表現で、1点透視図法作成法を修得する ・建築製図法の基本を修得することで、CAD設計との連携をスムーズにする								
到達目標	・建築、インテリアにおける基礎製図法を身に付ける :設計図の正しい理解と、作図法について ・建築、インテリアにおける基礎設計法を身に付ける :単位空間を含め、動線計画と建築計画の知識を応用させる 単なる設計製図表現でなく、美しく、わかりやすい図面表現を修得する ・建築物の基本的な構造を、設計製図を通して理解する ・作り付け家具の製図法、設計法を修得する :便利で合理的な、造作家具が設計できるようにする インテリア構成材や建築空間のディテールを理解する ・室内の1点透視図が作成できるようにする :色鉛筆で着色ができ、爽やかに明瞭な1点透視図が作成できる								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・基礎建築知識								
使用教材	・超入門 建築製図(市ヶ谷出版社)・解説プリント/演習プリント								
履修上の注意	・指定教材、テキスト・解説プリントなどを忘れないで持参すること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、①建築、インテリア製図基本技術の習得:作図法・文字の書き方・記号の理解等
第2週	・①建築、インテリア製図基本技術の習得:作図法・文字の書き方・記号の理解等
第3週	・②建築、インテリア計画寸法の習得:単位空間講座を行い、各種必要寸法体系を理解する
第4週	・②建築、インテリア計画寸法の習得:単位空間講座を行い、各種必要寸法体系を理解する
第5週	・②建築、インテリア計画寸法の習得:単位空間講座を行い、各種必要寸法体系を理解する ・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第6週	・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第7週	・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第8週	・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第9週	・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第10週	・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第11週	・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第12週	・③建築基本図:平面図/展開図/各伏図/カナバカリ図の作図を行う:製図課題
第13週	・④家具三面図:平面図/正面図/側面図の作図を行う:製図課題 注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第14週	・④家具三面図:平面図/正面図/側面図の作図を行う:製図課題 注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第15週	・④家具三面図:平面図/正面図/側面図の作図を行う:製図課題 注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある

科目名	設計製図B(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	2
担当教員	吉井 清夏		実務経験	企業にて下記業務に携わる ・住宅や大型建築物の生産設計業務に携わる 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	目的 ・建築、インテリア製図の基本作図法を修得する ・建築物の基本的な構造を学び、インテリアとの取り合いを学ぶ ・小規模建築(木造・RC造・S造-住居・店舗等)の、建築設計法を修得する ・単位空間の計画、設計を学び、また造作家具の計画、設計法を修得する ・室内空間の細部納まりを理解する ・室内表現で、1点透視図法作成法を修得する ・建築製図法の基本を修得することで、CAD設計との連携をスムーズにする								
到達目標	・建築、インテリアにおける基礎製図法を身に付ける : 設計図の正しい理解と、作図法について ・建築、インテリアにおける基礎設計法を身に付ける : 単位空間を含め、動線計画と建築計画の知識を応用させる 単なる設計製図表現でなく、美しく・わかりやすい図面表現を修得する ・建築物の基本的な構造を、設計製図を通して理解する ・作り付け家具の製図法、設計法を修得する : 便利で合理的な、造作家具が設計できるようにする インテリア構成材や建築空間のディテールを理解する ・室内の1点透視図が作成できるようにする : 色鉛筆で着色ができ、爽やかで明瞭な1点透視図が作成できる								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・基礎建築知識								
使用教材	・超入門 建築製図(市ヶ谷出版社) ・解説プリント/演習プリント								
履修上の注意	・指定教材、テキスト・解説プリントなどを忘れないで持参すること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容	
第1週	・オリエンテーション、⑤テキストトレース設計課題
第2週	・⑤テキストトレース設計課題
第3週	・小規模住宅の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造は木造とRC
第4週	・小規模住宅の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造は木造とRC
第5週	・小規模住宅の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造は木造とRC ・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第6週	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第7週	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第8週	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第9週	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第10週	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第11週	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第12週	・店舗の設計(平面図・断面図・断面詳細図・展開図等を作成): 構造はSとRC
第13週	・RC住宅の平面詳細図の作図(構造とインテリア構成材の取合せを理解する) *ある計画条件に即した平面詳細図を作成、インテリア空間を計画設計する 注: 課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第14週	・RC住宅の平面詳細図の作図(構造とインテリア構成材の取合せを理解する) *ある計画条件に即した平面詳細図を作成、インテリア空間を計画設計する 注: 課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第15週	・RC住宅の平面詳細図の作図(構造とインテリア構成材の取合せを理解する) *ある計画条件に即した平面詳細図を作成、インテリア空間を計画設計する 注: 課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある

科目名	CAD設計 I A(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	4	総授業時間	120	単位	4
担当教員	松野 義勝		実務経験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	目的 ・建築、インテリアにおけるCAD製図の基礎を修得する ・建築、インテリアにおけるCAD設計の基礎を修得する ・汎用CADソフト、VectorWorksの2D/3Dの基本的な操作方法を修得する ・CADが建築、インテリア設計においてどのような可能性を秘めているか、ある程度イメージすることができる								
到達目標	・VectorWorksによる2D/3D建築、インテリア製図法を身に付ける ・建築の基本作図法を、CAD設計製図にも取り入れることができ、効率のいいレイヤ・クラス計画ができる ・CAD表現の特性を理解し、常に美しくわかりやすい表現を目指す ＊CAD設計Ⅱにおいても同様である ・CAD設計Ⅱにおいて、より高度な設計製図、表現ができるようにこころがけて学習すること ・関連科目との連携を意識し、設計を行う場合その総合表現であることを意識すること								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・特になし ただし初歩的なWindowsOSの知識があることが望ましい								
使用教材	・Vectorworks公式テキスト/演習プリント								
履修上の注意	・データは、所定のサーバー及び各自のパソコンの指定箇所に保存すること ・データのバックアップは、各自で確実にすること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、VectorWorksの基礎的動作の修得:主にテキスト課題(自宅地図等も含む) ＊作図練習を行う(製図課題)
第2週	・VectorWorksの基礎的動作の修得:主にテキスト課題(自宅地図等も含む)＊作図練習を行う(製図課題)
第3週	・上記と同様
第4週	・上記と同様
第5週	・VectorWorksの基礎的動作の修得:主にテキスト課題(自宅地図等も含む)＊作図練習を行う(製図課題) ・2D製図法:主にテキスト課題(家具などの詳細製図):建築基本図作図法は、設計製図で修得する ＊家具三面図1/20、家具断面詳細図1/20を作成する(製図課題)
第6週	・2D製図法:主にテキスト課題(家具などの詳細製図):建築基本図作図法は、設計製図で修得する ＊家具三面図1/20、家具断面詳細図1/20を作成する(製図課題)
第7週	・上記と同様
第8週	・上記と同様
第9週	・上記と同様
第10週	・上記と同様
第11週	・2D製図法:主にテキスト課題(家具などの詳細製図):建築基本図作図法は、設計製図で修得する ＊家具三面図1/20、家具断面詳細図1/20を作成する(製図課題) ・2D3D製図法:主にテキスト課題(家具・小規模の店舗等)＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、家具断面詳細図1/20、3DCGによる外観を作成する(製図課題)注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第12週	・2D3D製図法:主にテキスト課題(家具・小規模の店舗等)＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、家具断面詳細図1/20、3DCGによる外観を作成する(製図課題)注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第13週	・上記と同様
第14週	・上記と同様
第15週	・上記と同様

科目名	CAD設計 I B(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	4	総授業時間	120	単位	4
担当教員	松野 義勝		実務経験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	目的 ・建築、インテリアにおけるCAD製図の基礎を修得する ・建築、インテリアにおけるCAD設計の基礎を修得する ・汎用CADソフト、VectorWorksの2D/3Dの基本的な操作方法を修得する ・CADが建築、インテリア設計においてどのような可能性を秘めているか、ある程度イメージすることができる								
到達目標	・VectorWorksによる2D/3D建築、インテリア製図法を身に付ける ・建築の基本作図法を、CAD設計製図にも取り入れることができ、効率のいいレイヤ・クラス計画ができる ・CAD表現の特性を理解し、常に美しくわかりやすい表現を目指す ＊CAD設計Ⅱにおいても同様である ・CAD設計Ⅱにおいて、より高度な設計製図、表現ができるようにこころがけて学習すること ・関連科目との連携を意識し、設計を行う場合その総合表現であることを意識すること								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・特になし ただし初歩的なWindowsOSの知識があることが望ましい								
使用教材	・Vectorworks公式テキスト/演習プリント								
履修上の注意	・データは、所定のサーバー及び各自のパソコンの指定箇所に保存すること ・データのバックアップは、各自で確実にすること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容	
第1週	・オリエンテーション、住吉の長屋の改良課題:平面図及び展開図を作成し、自分なりに問題点を掲げ、修正平面図を作成する ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、3DCGによる内観パースを作成する(設計課題)
第2週	・上記と同様
第3週	・上記と同様
第4週	・上記と同様
第5週	・住吉の長屋の改良課題:平面図及び展開図を作成し、自分なりに問題点を掲げ、修正平面図を作成する ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、3DCGによる内観パースを作成する(設計課題) ・極小規模の2階建住宅(壁式RC造)の製図を行い、LDKの3Dパースを作成する ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、展開図1/50をトレースすることで、建築計画及び空間の基本を修得する(製図課題) また、LDKのインテリアコーディネートを行う
第6週	・極小規模の2階建住宅(壁式RC造)の製図を行い、LDKの3Dパースを作成する ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、展開図1/50をトレースすることで、建築計画及び空間の基本を修得する(製図課題) また、LDKのインテリアコーディネートを行う
第7週	・上記と同様
第8週	・上記と同様
第9週	・上記と同様
第10週	・上記と同様
第11週	・極小規模の2階建住宅(壁式RC造)の製図を行い、LDKの3Dパースを作成する ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、展開図1/50をトレースすることで、建築計画及び空間の基本を修得する(製図課題) また、LDKのインテリアコーディネートを行う ・小規模の2階建住宅を設計する ＊壁式RC構造/・規模70㎡程度/・2階建て/・専用住宅 ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、展開図1/50、3Dによる外観及び主な室の室内パース作成(設計課題) ＊建築に関わる基本的な諸要件(計画・法規等)の解決は必須設計を進めながらその解決法を理解、修得する 注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第12週	・小規模の2階建住宅を設計する ＊壁式RC構造/・規模70㎡程度/・2階建て/・専用住宅 ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、展開図1/50、3Dによる外観及び主な室の室内パース作成(設計課題) ＊建築に関わる基本的な諸要件(計画・法規等)の解決は必須設計を進めながらその解決法を理解、修得する 注:課題に関しては、講座進行の程度により変更されることがある
第13週	・上記と同様
第14週	・上記と同様
第15週	・上記と同様

科目名	カラーコーディネートA				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	前期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	伊藤 奈緒美			実務経験					
目的/概要	<p>目的:色彩に関する必要最低限の知識の習得と、色彩士検定3級の合格。 概要:座学、演習を通して実践的なインテリア色彩の知識を身につけ、また色彩士検定3級の対策を行う。</p>								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の基礎知識とバランスを身につけ、実際に着彩課題において、適材適所に色を配置することができる。 ・色彩士検定3級を取得する。 								
目標資格	色彩士検定3級								
前提知識	特になし								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Color Master BASIC(NPO法人 アデック出版局) ・新配色カード199a(日本色研事業株式会社) ・絵具教材 								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・指定教材を忘れないで準備すること ・実習を行う際はできるだけ教室を汚さないように留意し、確実に清掃すること 								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・定期試験:45% ・各課題の平均点数:45% ・授業に取り組む姿勢:10% 等により総合的に評価する。								

授業計画・授業内容

第1週	科目オリエンテーション、アンケート
第2週	色の表示方法 (1)色相を理解する
第3週	色の表示方法 (2)明度・彩度を理解する
第4週	第1章 色の成り立ち①
第5週	第1章 色の成り立ち②
第6週	第2章 混色
第7週	第2章 混色演習 色相環
第8週	第2章 混色演習 トーン
第9週	第3章 色の表示方法①
第10週	第3章 色の表示方法②
第11週	第3章 色の表示方法③
第12週	第4章 色の知覚的効果①
第13週	第4章 色の知覚的効果②
第14週	第4章 色の知覚的効果③
第15週	前期まとめ/期末試験

科目名	カラーコーディネートB				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	1	履修学期	後期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	伊藤 奈緒美			実務経験					
目的/概要	目的:色彩に関する必要最低限の知識の習得と、色彩士検定3級の合格。 概要:座学、演習を通して色彩の知識を身につけ、また色彩士検定3級の対策を行う。								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩の基礎知識とバランスを身につけ、実際に着彩課題において、適材適所に色を配置することができる。 ・色彩士検定3級を取得する。 								
目標資格	色彩士検定3級								
前提知識	特になし								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・Color Master BASIC(NPO法人 アデック出版局) ・新配色カード199a(日本色研事業株式会社) ・絵具教材 								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・指定教材を忘れないで準備すること ・実習を行う際はできるだけ教室を汚さないように留意し、確実に清掃すること 								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・色彩士検定3級の合否:30% ・各課題の平均点数:50% ・授業に取り組む姿勢:20% 等により総合的に評価する。								

授業計画・授業内容

第1週	第5章 色の心理的効果①
第2週	第5章 色の心理的効果②
第3週	第6章 色彩調和①
第4週	第6章 色彩調和②
第5週	第6章 色彩調和③
第6週	第6章 色彩調和 配色演習①
第7週	第6章 色彩調和 配色演習②
第8週	色彩士検定3級対策①
第9週	色彩士検定3級対策②
第10週	色彩士検定3級対策③
第11週	色彩士検定3級対策④
第12週	色彩演習 季節の表現
第13週	色彩演習 商品イメージと色彩①
第14週	色彩演習 商品イメージと色彩②
第15週	後期まとめ

インテリア科

2年

科目名	就職対策Ⅱ				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	4
担当教員	松野 義勝			実務経験					
目的/概要	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分がどのような仕事をしたいのか、どのような業種に進みたいのか、などについて絞込みを行う。 ・希望する企業から内定を獲得するために、より実践的に、就職試験に即した内容について学習する。 ・社会人として身につけておきたいコミュニケーション能力、マナー、ルール、一般常識等について学習する。 								
到達目標	1年次の就職対策Ⅰ、そして就職対策Ⅱの授業内容について理解・実践し、就職活動及び就職試験に十分生かし、希望する企業から内定を獲得する。								
目標資格	・特になし								
前提知識	就職対策Ⅰが履修済みであること(1年次)。								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・面接対策&ビジネスマナー + 動画 ・自己分析ワークシート ・職業紹介動画 								
履修上の注意	就職活動は自分自身のために行う活動である。自主的かつ積極的に行動すること。								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・課題内容・提出状況:80% ・就職活動・授業への取り組み姿勢:20% 等により総合的に評価する。								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション
第2週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第3週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第4週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第5週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第6週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第7週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第8週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第9週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第10週	・就職センターを活用しての情報収集や受験企業の選定等や担当者との面談
第11週	・一般常識問題の練習
第12週	・履歴書、エントリーシート等の作成練習
第13週	・就職活動における言葉遣いや態度、基本動作等についての実践練習
第14週	・グループディスカッション
第15週	・個別面談

科目名	インテリアコーディネイトA				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	4
担当教員	松野 義勝		実務経験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	目的 ・インテリアコーディネイトに関連する知識技術を習得する ・座学による知識による解説と、演習課題による理解度確認を併せて行う 特に、単位必要寸法の理解習得には力を入れて取り組む								
到達目標	・インテリアコーディネーターを目指す ・用語、必要寸法、特徴などの理解習得を目指す ・インテリアコーディネーターとしてのアドバイス能力を身につける ・一点透視図法を、確実に理解する								
目標資格	・インテリアコーディネーター								
前提知識	・設計製図 I、CAD設計 I、デジタルデザインを理解習得していること。								
使用教材	・インテリアコーディネーター1次試験過去問題集徹底研究【上】(ハウジングエージェンシー) ・インテリアコーディネーター1次試験過去問題集徹底研究【下】(ハウジングエージェンシー) ・インテリア設計士 試験問題集。(日本インテリア設計士協会)								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る								
成績評価の方法	・課題及びレポート 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、コーディネーター重要事項の個人ノートを作成
第2週	・コーディネーター重要事項の個人ノートを作成
第3週	・コーディネーター重要事項の個人ノートを作成
第4週	・コーディネーター重要事項の個人ノートを作成
第5週	・コーディネーター重要事項の個人ノートを作成 ・各種コーディネートの実習を行う
第6週	・各種コーディネートの実習を行う
第7週	・各種コーディネートの実習を行う
第8週	・各種コーディネートの実習を行う
第9週	・各種コーディネートの実習を行う
第10週	・各種コーディネートの実習を行う ・建築・インテリア・仁体系の寸法を理解する
第11週	・建築・インテリア・仁体系の寸法を理解する
第12週	・上記と同様
第13週	・上記と同様
第14週	・上記と同様
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	インテリアコーディネイトB				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	後期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	4
担当教員	松野 義勝		実務経験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	目的 ・インテリアコーディネイトに関連する知識技術を習得する ・座学による知識による解説と、演習課題による理解度確認を併せて行う 特に、単位必要寸法の理解習得には力を入れて取り組む								
到達目標	・インテリアコーディネーターを目指す ・用語、必要寸法、特徴などの理解習得を目指す ・インテリアコーディネーターとしてのアドバイス能力を身につける ・一点透視図法を、確実に理解する								
目標資格	・インテリアコーディネーター								
前提知識	・設計製図Ⅰ、CAD設計Ⅰ、デジタルデザインを理解習得していること。								
使用教材	・インテリアコーディネーター1次試験過去問題集徹底研究【上】(ハウジングエージェンシー) ・インテリアコーディネーター1次試験過去問題集徹底研究【下】(ハウジングエージェンシー) ・インテリア設計士 試験問題集。(日本インテリア設計士協会)								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る								
成績評価の方法	・課題及びレポート 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、インテリア関連の設備・計画・法規などを理解する
第2週	・インテリア関連の設備・計画・法規などを理解する
第3週	・インテリア関連の設備・計画・法規などを理解する
第4週	・家具全般を理解する
第5週	・家具全般を理解する
第6週	・家具全般を理解する
第7週	・家具全般を理解する
第8週	・ファブリック全般を理解する
第9週	・ファブリック全般を理解する
第10週	・ファブリック全般を理解する
第11週	・ファブリック全般を理解する
第12週	・家具図・コーディネート図、一点透視図などを実習する
第13週	・家具図・コーディネート図、一点透視図などを実習する
第14週	・家具図・コーディネート図、一点透視図などを実習する
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	インテリア計画ⅡA(二級建築士認定科目)				企業連携	対象科目	授業方法	実習・演習	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	2
担当教員	渡邊 武海		実務経験	個人にて総合デザイン事務所を主宰し、各種インテリア・建築の基本設計・実施設計、現場設計監理などを行う またイベントのチラシやパンフの作成などグラフィックデザインも行い、イベントの制作・企画なども併せて行う それら幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテリアコーディネートボード作成方法/プランニング/などの応用実習(この項目は以下の企業と連携実習を行う) ・有限責任事業組合メディア・ストラータ(代表組合員 渡邊武海)により実践的なインテリアコーディネート能力を身に着けるために、連携実習を行う。事前に担当者で連携実習の内容について綿密な打合せを行い、実習に臨む ・なおインテリアコーディネートボードの作成が完了したら、個別で課題のプレゼンテーションを行い、生徒各員の学習達成度の把握を行う ・高度な福祉住環境に対する知識を修得する ・応用的な店舗について、プランニングできる能力を身に付ける ・様々な家具の表現方法を修得する 								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な、インテリアコーディネートボードの作成ができる ・高齢者、障害者対策が実際の設計に活かせるレベルを目指す ・店舗の空間設計ができる ・機能と意匠のバランスを取ることができる ・マーケティングやセールスプロモーションを意識したデザインができる ・実現できるプランニングを常に意識することができる 								
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・二級建築士、インテリアコーディネーター 								
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリア計画Ⅰを修得していること 								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリアコーディネーター関連テキスト及び参考書。(過去問題集含む) ・福祉住環境コーディネーター関連テキスト及び過去問題集。 								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る。 								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・企業連携実習課題 30% ・演習課題及びレポートなど 60% / 授業に取り組む姿勢 10% 								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、「インテリアコーディネートボード作成」説明および質疑応答
第2週	・「インテリアコーディネートボード作成」説明および質疑応答
第3週	・「インテリアコーディネートボード作成」説明および質疑応答 ・平面計画図の作成
第4週	・平面計画図の作成
第5週	・平面計画図の作成
第6週	・平面計画図の作成 ・展開図の作成
第7週	・展開図の作成 ・必要エレメントの収集
第8週	・必要エレメントの収集
第9週	・必要エレメントの収集
第10週	・必要エレメントの収集 ・コーディネートボード
第11週	・コーディネートボード
第12週	・コーディネートボード
第13週	・コーディネートボード ・高齢者対策の実践
第14週	・高齢者対策の実践
第15週	・高齢者対策の実践

科目名	インテリア計画ⅡB(二級建築士認定科目)				企業連携	対象科目	授業方法	実習・演習	
履修年次	2	履修学期	後期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	2
担当教員	渡邊 武海		実務経験	個人にて総合デザイン事務所を主宰し、各種インテリア・建築の基本設計・実施設計、現場設計監理などを行う またイベントのチラシやパンフの作成などグラフィックデザインも行い、イベントの制作・企画なども併せて行う それら幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	<p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インテリアコーディネートボード作成方法/プランニング/などの応用実習(この項目は以下の企業と連携実習を行う) ・有限責任事業組合メディア・ストラータ(代表組合員 渡邊武海)により実践的なインテリアコーディネート能力を身に着けるために、連携実習を行う。事前に担当者で連携実習の内容について綿密な打合せを行い、実習に臨む ・なおインテリアコーディネートボードの作成が完了したら、個別で課題のプレゼンテーションを行い、生徒各員の学習達成度の把握を行う ・高度な福祉住環境に対する知識を修得する ・応用的な店舗について、プランニングできる能力を身に付ける ・様々な家具の表現方法を修得する 								
到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・有効な、インテリアコーディネートボードの作成ができる ・高齢者、障害者対策が実際の設計に活かせるレベルを目指す ・店舗の空間設計ができる ・機能と意匠のバランスを取ることができる ・マーケティングやセールスプロモーションを意識したデザインができる ・実現できるプランニングを常に意識することができる 								
目標資格	<ul style="list-style-type: none"> ・二級建築士、インテリアコーディネーター 								
前提知識	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリア計画Ⅰを修得していること 								
使用教材	<ul style="list-style-type: none"> ・インテリアコーディネーター関連テキスト及び参考書。(過去問題集含む) ・福祉住環境コーディネーター関連テキスト及び過去問題集。 								
履修上の注意	<ul style="list-style-type: none"> ・A4サイズノートを準備し、重要な部分はノートを取る。 								
成績評価の方法	<ul style="list-style-type: none"> ・企業連携実習課題 30% ・演習課題及びレポートなど 60% / 授業に取り組む姿勢 10% 								

授業計画・授業内容	
第1週	・オリエンテーション、医療と環境の関係
第2週	・医療と環境の関係
第3週	・医療と環境の関係 ・空間とその対策
第4週	・空間とその対策
第5週	・空間とその対策
第6週	・プランニング概要 ・基本計画
第7週	・基本計画 ・詳細計画
第8週	・詳細計画
第9週	・詳細計画
第10週	・詳細計画 ・スタディー
第11週	・スタディー
第12週	・スタディー
第13週	・スタディー ・プレゼンテーションパネル作成
第14週	・プレゼンテーションパネル作成
第15週	・プレゼンテーションパネル作成

科目名	建築法規(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	伊藤 功啓			実務経験	建築設計事務所にて、設計監理を経験。多くの建築物の監理を行った経験を活かし、実践的な教育を行う。				
目的/概要	目的 ・建築法規の意義と、その内容について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・基準法の概要を理解修得する ・単体規定、集団規定の概要を理解修得する ・建築手続について理解する ・法令集の引き方、読解法を修得する ・建築士としての倫理観を養う								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・基礎建築知識、文章理解能力								
使用教材	・超入門建築基準法 イラスト解説による(市ヶ谷出版社)、 建築基準法関係法令集2022年版(横書)(建築資料研究社) ・演習プリント(進度により調整) ・指定教材(進度により調整)								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、概要、用語の定義、面積等
第2週	・建築手続
第3週	・一般構造、設備規定
第4週	・一般構造、設備規定
第5週	・一般構造、設備規定
第6週	・防火、避難施設、構造強度
第7週	・防火、避難施設、構造強度
第8週	・防火、避難施設、構造強度
第9週	・道路、用途地域、面積、高さ防火・準防火地域
第10週	・道路、用途地域、面積、高さ防火・準防火地域
第11週	・道路、用途地域、面積、高さ防火・準防火地域
第12週	・道路、用途地域、面積、高さ防火・準防火地域
第13週	・その他の規定
第14週	・建築士法、建設業法
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	建築施工(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	1	総授業時間	30	単位	2
担当教員	伊藤 功啓			実務経験					
目的/概要	目的 ・各種工事の施工方法、管理を理解修得する ・工事積算の概要について理解する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基本知識修得サポート								
到達目標	・建築施工の概要を理解修得する ・建築施工管理の概要を理解修得する ・基礎工事、躯体工事、仕上工事などの概要を理解修得する ・建築施工とインテリア施工の接点を理解する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・基礎建築知識								
使用教材	・専門士課程 建築施工(第二版)(学芸出版社)・演習プリント・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、施工計画、施工管理
第2週	・仮設、地業、基礎工事
第3週	・躯体工事、木工事
第4週	・躯体工事、木工事
第5週	・躯体工事、木工事
第6週	・各種工事
第7週	・各種工事
第8週	・各種工事
第9週	・用語、機械器具
第10週	・用語、機械器具
第11週	・用語、機械器具
第12週	・用語、機械器具
第13週	・積算、測量概要
第14週	・積算、測量概要
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	住宅計画A(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	3	総授業時間	90	単位	3
担当教員	伊藤 功啓			実務経験	建築設計事務所にて、設計監理を経験。多くの建築物の監理を行った経験を活かし、実践的な教育を行う。				
目的/概要	目的 ・木造住宅について企画から設計まで一連の流れを体験し、その概要を理解修得する ・単位空間について、より詳しく知識を深める ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・木造住宅について正しく理解修得する ・歴史から設計の流れを一連の流れとして捉えることができる能力を身に付ける ・実際の木造住宅と同様のプロセスで設計を体験し、その奥の深さ・充実感を体感する ・単なる意匠設計ではなく、確実に建築可能な住宅を設計する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・設計製図Ⅰ、Ⅱ/CAD設計Ⅰ、Ⅱ/その他建築系基礎知識を修得していること								
使用教材	・住宅の計画学入門―住まい設計の基本を知る(鹿島出版会) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを用意し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、木造住宅の概要
第2週	・木造住宅の概要
第3週	・木造住宅の概要
第4週	・木造住宅の概要
第5週	・木造住宅の概要 ・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第6週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第7週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第8週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第9週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス)
第10週	・基本設計(企画、調査、条件の整理、構想、エスキス) ・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・断面・かなばかり図) (屋根伏・天井伏・展開図、建具・仕上表)
第11週	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・断面・かなばかり図) (屋根伏・天井伏・展開図、建具・仕上表)
第12週	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・断面・かなばかり図) (屋根伏・天井伏・展開図、建具・仕上表)
第13週	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・断面・かなばかり図) (屋根伏・天井伏・展開図、建具・仕上表)
第14週	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・断面・かなばかり図) (屋根伏・天井伏・展開図、建具・仕上表)
第15週	・実施設計(設計概要、付近見取り図、法の検討、配置・平面・立面・断面・かなばかり図) (屋根伏・天井伏・展開図、建具・仕上表)

科目名	住宅計画B(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	後期	時間/週	3	総授業時間	90	単位	3
担当教員	伊藤 功啓			実務経験	建築設計事務所にて、設計監理を経験。多くの建築物の監理を行った経験を活かし、実践的な教育を行う。				
目的/概要	目的 ・木造住宅について企画から設計まで一連の流れを体験し、その概要を理解修得する ・単位空間について、より詳しく知識を深める ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・木造住宅について正しく理解修得する ・歴史から設計の流れを一連の流れとして捉えることができる能力を身に付ける ・実際の木造住宅と同様のプロセスで設計を体験し、その奥の深さ・充実感を体感する ・単なる意匠設計ではなく、確実に建築可能な住宅を設計する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・設計製図Ⅰ、Ⅱ/CAD設計Ⅰ、Ⅱ/その他建築系基礎知識を修得していること								
使用教材	・住宅の計画学入門―住まい設計の基本を知る(鹿島出版会) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを用意し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、構造図(床伏・小屋伏・軸組)
第2週	・構造図(床伏・小屋伏・軸組)
第3週	・構造図(床伏・小屋伏・軸組)
第4週	・構造図(床伏・小屋伏・軸組)
第5週	・構造図(床伏・小屋伏・軸組) ・設備設計(空調、電気)
第6週	・設備設計(空調、電気)
第7週	・設備設計(空調、電気)
第8週	・設備設計(空調、電気)
第9週	・設備設計(空調、電気) ・設備設計(空調、電気)
第10週	・小規模住宅設計課題を各期ごとに行う (基本設計→実施設計の一部(伏図除く))演習プリントにて詳細は指示
第11週	・小規模住宅設計課題を各期ごとに行う(基本設計→実施設計の一部(伏図除く))演習プリントにて詳細は指示
第12週	・小規模住宅設計課題を各期ごとに行う(基本設計→実施設計の一部(伏図除く))演習プリントにて詳細は指示
第13週	・小規模住宅設計課題を各期ごとに行う(基本設計→実施設計の一部(伏図除く))演習プリントにて詳細は指示
第14週	・小規模住宅設計課題を各期ごとに行う(基本設計→実施設計の一部(伏図除く))演習プリントにて詳細は指示
第15週	・小規模住宅設計課題を各期ごとに行う(基本設計→実施設計の一部(伏図除く))演習プリントにて詳細は指示

科目名	建築構造A(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	4
担当教員	伊藤 功啓			実務経験	建築設計事務所にて、設計監理を経験。多くの建築物の監理を行った経験を活かし、実践的な教育を行う。				
目的/概要	目的 ・建築構造の意義と、その内容について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・建築構造の概要を理解修得する ・構造力学の基礎を理解修得する ・地盤の重要性を理解する ・代表的な、木構造や鉄筋コンクリート造・鉄骨造を理解する ・耐震の重要性を理解する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・特に無し								
使用教材	・Fast Stageシリーズ 新訂構造概論(実教出版社) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、構造物について
第2週	・構造物について
第3週	・構造物について ・応力、断面の性質、応力度
第4週	・応力、断面の性質、応力度
第5週	・応力、断面の性質、応力度
第6週	・応力、断面の性質、応力度 ・不静定構造物
第7週	・不静定構造物 ・構造設計
第8週	・構造設計
第9週	・構造設計
第10週	・地盤と基礎 ・木構造
第11週	・木構造
第12週	・木構造 ・鉄筋コンクリート構造
第13週	・鉄筋コンクリート構造 ・鉄骨造
第14週	・鉄骨造 ・その他構造
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	建築構造B(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	講義・演習	
履修年次	2	履修学期	後期	時間/週	2	総授業時間	60	単位	4
担当教員	伊藤 功啓			実務経験	建築設計事務所にて、設計監理を経験。多くの建築物の監理を行った経験を活かし、実践的な教育を行う。				
目的/概要	目的 ・建築構造の意義と、その内容について理解修得する ・建築設計基礎能力を修得する ・インテリアプランニング/コーディネートの基礎知識修得サポート								
到達目標	・建築構造の概要を理解修得する ・構造力学の基礎を理解修得する ・地盤の重要性を理解する ・代表的な、木構造や鉄筋コンクリート造・鉄骨造を理解する ・耐震の重要性を理解する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・特に無し								
使用教材	・Fast Stageシリーズ 新訂構造概論(実教出版社) ・演習プリント ・指定教材								
履修上の注意	・A4サイズノートを準備し、重要な部分は工夫しながらノートを取ること ・指定教材を忘れないで準備すること								
成績評価の方法	・定期試験の成績 50% ・課題内容・提出状況 30% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、構造物について復習
第2週	・木造構造物について作図1
第3週	・木造構造物について作図2 ・構造図の理解1
第4週	・構造図の理解2
第5週	・構造図の理解3
第6週	・構造図の理解4 ・構造計算概要1
第7週	・構造計算概要2 ・構造詳細図の基礎1
第8週	・構造詳細図の基礎2
第9週	・構造詳細図の基礎3
第10週	・伝統建築物の構造理解
第11週	・伝統建築物の構造理解
第12週	・SRC構造概要 ・SRC構造作図
第13週	・構造レポート
第14週	・特殊な鉄骨造について ・その他構造についての復習
第15週	・期末試験、まとめ

科目名	CAD設計ⅡA(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	2	履修学期	前期	時間/週	3	総授業時間	90	単位	3
担当教員	松野 義勝		実務経験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う					
目的/概要	目的 ・建築、インテリアの製図法を正しく表現するだけでなく、より美しく見やすい表現を目指す ・建築、インテリアに要求される計画、設計法を修得する ・建築、インテリアに要求される諸要件の解決方法を見出すことができる ・CAD設計Ⅰで修得したVectorWorksの機能を活かし、より高度な設計課題を制作する ＊画像処理ソフト「フォトショップ」などの基礎を修得し、VectorWorksと連携させることによりCADだけでは表現できない、より高度な3DCGを作成できる能力を修得する								
到達目標	・建築、インテリアにおける単位寸法を理解する ・建築、インテリアにおける計画諸要件を理解でき、設計に活かすことができる ・建築、インテリアにおける細部(ディテール)の表現ができる:2D/3D共 ・製図、或いは設計で表現された図面が、実際の建築施工でどのようにになっているかある程度イメージすることができる ・CADが実際の仕事で、どのように機能するのか、概念的に理解している ・クライアントがイメージを理解できるような、美しく見やすい2D/3D画像が作成できる ・給湯、排水、空調、照明などの、建築設備計画の基礎を修得する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・CAD設計Ⅰを修得していること								
使用教材	・Vectorworks公式テキスト/演習プリント								
履修上の注意	・データの扱いはCAD設計Ⅰと同様 ・常に建築/インテリア設計との関わりを意識し、より高度な連携ができるように努めること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、和室詳細図2D表現:伝統的和室のディテールの理解:美しく見やすいようにレイアウトする ＊1/50平面詳細図・1/50展開図の作成(製図課題)
第2週	・上記と同様
第3週	・上記と同様
第4週	・上記と同様
第5週	・和室詳細図2D表現:伝統的和室のディテールの理解:美しく見やすいようにレイアウトする ＊1/50平面詳細図・1/50展開図の作成(製図課題) ・店舗詳細図2D表現:店舗の什器や、下地と仕上げの関係などの基本を理解する:美しく見やすいようにレイアウトする ＊1/50平面詳細図・1/50展開図の作成(製図課題)
第6週	・店舗詳細図2D表現:店舗の什器や、下地と仕上げの関係などの基本を理解する:美しく見やすいようにレイアウトする ＊1/50平面詳細図・1/50展開図の作成(製図課題)
第7週	・上記と同様
第8週	・上記と同様
第9週	・上記と同様
第10週	・店舗詳細図2D表現:店舗の什器や、下地と仕上げの関係などの基本を理解する:美しく見やすいようにレイアウトする ＊1/50平面詳細図・1/50展開図の作成(製図課題) ・店舗3D表現:前期平面詳細図を基に、3DCGパース外観及び内観を作成する:美しく見やすいようにレイアウトする(製図課題)
第11週	・店舗3D表現:前期平面詳細図を基に、3DCGパース外観及び内観を作成する:美しく見やすいようにレイアウトする(製図課題)
第12週	・上記と同様
第13週	・上記と同様
第14週	・上記と同様
第15週	・上記と同様

科目名	CAD設計ⅡB(二級建築士認定科目)				企業連携		授業方法	実習・講義	
履修年次	2	履修学期	後期	時間/週	3	総授業時間	90	単位	3
担当教員	松野 義勝			実務経験	企業にて下記業務に携わる ・専用、集合住宅の設計監理 ・店舗の設計監理 ・公共建築の企画の設計監理 ・展覧会への出店、各種建築系イベントの企画 ・各種建築インテリアデザインコンペティションへの提出 上記のジャンルの基本設計・実施設計、現場設計監理など幅広い業務に関わった経験を活かし実践的な教育を行う				
目的/概要	目的 ・建築、インテリアの製図法を正しく表現するだけでなく、より美しく見やすい表現を目指す ・建築、インテリアに要求される計画、設計法を修得する ・建築、インテリアに要求される諸要件の解決方法を見出すことができる ・CAD設計Ⅰで修得したVectorWorksの機能を活かし、より高度な設計課題を制作する ＊画像処理ソフト「フォトショップ」などの基礎を修得し、VectorWorksと連携させることによりCADだけでは表現できない、より高度な3DCGを作成できる能力を修得する								
到達目標	・建築、インテリアにおける単位寸法を理解する ・建築、インテリアにおける計画諸要件を理解でき、設計に活かすことができる ・建築、インテリアにおける細部(ディテール)の表現ができる:2D/3D共 ・製図、或いは設計で表現された図面が、実際の建築施工でどのようになっているかある程度イメージすることができる ・CADが実際の仕事で、どのように機能するのか、概念的に理解している ・クライアントがイメージを理解できるような、美しく見やすい2D/3D画像が作成できる ・給湯、排水、空調、照明などの、建築設備計画の基礎を修得する								
目標資格	・二級建築士								
前提知識	・CAD設計Ⅰを修得していること								
使用教材	・Vectorworks公式テキスト/演習プリント								
履修上の注意	・データの扱いはCAD設計Ⅰと同様 ・常に建築/インテリア設計との関わりを意識し、より高度な連携ができるように努めること								
成績評価の方法	・課題内容・提出状況 80% ・授業に取り組む姿勢 20%								

授業計画・授業内容

第1週	・オリエンテーション、家具のデザイン設計:椅子・ソファ・テーブル・作り付け家具等を、ユーザー像を想定し計画設計する ＊家具三面図1/20及び3DCGによる外観を作成する(設計課題)
第2週	・上記と同様
第3週	・上記と同様
第4週	・上記と同様
第5週	・家具のデザイン設計:椅子・ソファ・テーブル・作り付け家具等を、ユーザー像を想定し計画設計する ・キッチンのデザイン設計を行う:住環境を想定した建築物の室内空間において、LDKの設計を行う ＊平面図1/50、展開図1/50、3DCGによる内観パース作成(設計課題)
第6週	・キッチンのデザイン設計を行う:住環境を想定した建築物の室内空間において、LDKの設計を行う ＊平面図1/50、展開図1/50、3DCGによる内観パース作成(設計課題)
第7週	・上記と同様
第8週	・上記と同様
第9週	・上記と同様
第10週	・小規模の2世帯住宅及び店舗付住宅を設計する:現代の住環境に必要な要件を理解し、それを設計に活かすことを学ぶ ＊平面図1/100、断面図1/100、立面図1/100、店舗部分展開図1/50、3DCGによる内外観の パース作成(設計課題)
第11週	・上記と同様
第12週	・上記と同様
第13週	・上記と同様
第14週	・上記と同様
第15週	・上記と同様